

第6章 助産師の出向と受け入れの実態

助産師の出向と受け入れの実態

1. 調査概要

1) 目的

分娩取扱い施設と助産師の助産師出向への意向を明らかにする

2) 調査対象

病院、診療所と助産師

3) 結果

(1) 病院と助産師出向の実態

497 の病院中、「現在、助産師が出向している」のは 17 病院 (3.4%)、「以前、助産師が出向していた」のは 60 病院 (12.1%)、「出向の経験はない」のは 387 病院 (77.9%)、「助産師の出向はないが、看護師の出向経験はある」のは 33 病院 (6.6%) であった。また、494 病院中、「現在、助産師の出向を受け入れている」のは 16 病院 (3.2%)、「以前、助産師の出向を受け入れていた」のは 40 病院 (8.1%)、「出向の受け入れ経験はない」のは 417 病院 (84.4%)、「助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある」のは 21 病院 (4.3%) であった。

助産師を出向したことがあるもしくは出向を受けていた 108 の病院で、出向時点での出向助産師 415 人の臨床経験年数は多い順に「3～4 年」が 174 人 (41.9%)、「5～6 年」が 81 人 (19.5%)、「7～8 年目」が 42 人 (10.1%) であった。

自施設と出向元、もしくは出向先の所在都道府県が異なっていたのは 110 病院中 57 病院 (51.8%)、同じ都道府県だったのは 45 病院 (40.9%) であった。また自施設と出向元もしくは出向先での給与差は、同額が 110 病院中 92 病院 (83.6%)、増額が 18 病院 (16.4%) で減額はなかった。

(2) 病院と助産師出向の意向

497 の病院で、自施設から他施設へ助産師の出向を可能とする条件で「非常に重要である」もしくは「重要である」とした条件は多い順に、「出向する助産師の給与が、今よりも減額にならないこと」482 病院 (97.0%)、「出向期間中の年月が、出向元の退職金の計算対象範囲に含まれること」481 病院 (96.8%)、「出向先の施設に、常勤助産師が 1 人以上いること (看護師だけではないこと)」479 病院 (96.4%) であった。

また、助産師出向について 497 病院の産科関連病棟の看護管理者の気持ちは「他施設から助産師の出向を受け入れたい」104 病院 (21.3%)、「一定の条件が整えば、他施設への助産師出向を検討する」292 病院 (58.8%)、「どのような条件が整えられても、助産師を他施設へ出向することができない」99 病院 (19.9%) であった。また、他施設から助産

師の出向を受け入れたい場合、受け入れのための条件として104の病院は多い順に「病院の就業形態に合わせられる人であれば」69病院(66.3%)、「病院の規程給与内の支払いであれば」67病院(64.4%)、「分娩介助経験数が一定数以上であれば」34病院(32.7%)であった。

(3) 診療所と助産師出向の実態

343の診療所のうち、「現在、助産師の出向を受け入れている」のは6診療所(1.7%)、「以前、助産師の出向を受け入れていた」のは9診療所(2.6%)、「出向の受け入れ経験はない」のは326診療所(95.0%)、「助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある」のは2診療所(0.6%)であった。

(4) 診療所と出向助産師受け入れの意向

329の診療所のうち、助産師出向の受け入れ希望が「あり」は131診療所(39.8%)、「なし」は198診療所(60.2%)であった。助産師出向の受け入れ希望がある130診療所では、出向助産師に期待する業務は多い順に「分娩介助」112診療所(86.2%)、「夜勤勤務」112診療所(86.2%)、「妊婦健診」38診療所(29.2%)であった。また、出向助産師の受け入れを希望する126診療所が希望する、出向助産師の受け入れ期間は最短が3カ月、最高が24カ月であり、102診療所(81.0%)が1年間としていた。

また、助産師出向の受け入れ希望がある125診療所で、1回の受け入れで希望する助産師は1人から5人までであり、平均1.7人であった。さらに、希望する出向助産師の臨床経験年数は1年から10年であり、平均は3.6年であった。

助産師出向の受け入れ希望がある128診療所が、出向助産師を受け入れるためにとれる対応は多い順に「診療所の規程給与内での支払いであれば」113診療所(88.3%)、「診療所の就業形態に合わせられる人であれば」97診療所(75.8%)、「診療所の規程の住宅手当内での支払いであれば」29診療所(22.7%)であった。

(5) 助産師と助産師出向の実態と意向

3898人の助産師のうち、所属施設で「現在、助産師が出向している」のは200人(5.1%)、「以前、助産師が出向していた」のは293人(7.5%)、「出向の経験はない」のは3272人(83.9%)、「助産師の出向経験はないが、看護師の出向経験はある」のは133人(3.4%)であった。また、他施設より「現在、助産師の出向を受け入れている」のは131人(3.4%)、「以前、助産師の出向を受け入れていた」のは299人(7.7%)、「出向受け入れの経験はない」のは3343人(85.8%)、「助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある」のは125人(3.2%)であった。

3898人の助産師のうち、助産師として出向した経験が「ある」のは128人(3.3%)、「ない」のは3770人(96.7%)であった。助産師として出向経験のある128人の、出向時点

の助産師経験年数は多い順に「3年目」27人（21.1%）、「4年目」26人（20.3%）、「2年目」21人（16.4%）であった。出向経験のある助産師の出向時点での経験年数の範囲は1年から35年であり、平均は7.6年であった。

128人の助産師の、1回の出向期間は多い順に「1年」31人（24.2%）、「3カ月」30人（23.4%）、「6カ月」22人（17.2%）であり、範囲は半月から3年、平均が7.1カ月であった。出向先が「病院」だったのは118人（92.2%）、「診療所」だったのは10人（7.8%）であった。出向先と出向前の分娩件数に回答した助産師99人のうち、年間取扱い分娩件数が出向前より増加したのは70人（70.7%）であった。

出向元と出向先の所在地が同じ県内であった助産師は64人（50.0%）であり、119人の助産師のうち引っ越しを要した助産師は71人（59.7%）であった。出向元と出向先における給与は、「減額」が17人（13.3%）、「増額」が28人（23.5%）、「同額」が83人（64.8%）であった。

128人の助産師のうち、「また機会があれば他施設へ出向したい」のは79人（61.7%）であった。

4) まとめと考察

本調査より、助産師の出向が全国で実施されており、施設間で助産師の偏在是正の試みがなされていることが明らかとなった。

病院では、助産師を出向させる条件として助産師の給与や身分が保障されることをあげており、また、病院や診療所は出向助産師を受ける前提として施設の給与規程内や業務形態に合わせた人員であることをあげている。また、助産師の出向では、出向時点の助産師経験が「3～4年目」が最も多いことから、社会的背景として自由な勤務が組みやすく、なおかつ一定の実践能力が備わった人員が出向に相当であると考えられていると考えられる。これより助産師の出向には、出向助産師が出向元に在職し、その身分が守られながらも、ある程度出向先の現状に合わせてフレキシブルに働ける助産師が適切であると考えられる。

また、出向を経験した助産師の約7割が年間に取り扱う分娩件数が増加しており、助産実践能力が強化されたと考える。出向時の給与も、約9割が同額もしくは増額しており、金銭的な不利益もなく、また、機会があれば出向したいと約6割の助産師が考えていることから、助産師出向は助産師自身にとっても有意義であると考えられる。出向助産師の受け入れは約2割の病院と約4割の診療所が希望している。助産師出向に対するニーズがあることがわかり、また実際に助産師が出向できるとしていることから、助産師出向システムの実現可能性があることが示唆された。

「助産師出向」の実施状況（病院・診療所調査）

他施設への助産師出向経験がある病院(有効回答)

		現在、 出向している	以前、 出向していた
他施設への助産師出向経験がある病院	77病院	17病院	60病院

(単数回答)

他施設から助産師の出向を受け入れている病院と診療所(有効回答)

		現在、 出向を受け入れている	以前、 出向を受け入っていた
助産師出向の受け入れ経験がある病院	56病院	16病院	40病院
助産師出向の受け入れ経験がある診療所	15診療所	6診療所	9診療所

(単数回答)

- 「出向経験のあり・なし」の回答項目だけを見ると、他施設への助産師出向経験がある病院は89病院にのぼり、病院調査票回収数595病院のうち14.9%を占める。
- 「受け入れ経験のあり・なし」の回答だけを見ると、他施設からの助産師出向受け入れ経験がある診療所は21診療所にのぼり、診療所調査票回収数355診療所のうち5.9%を占める。

「助産師出向」の実施状況（助産師調査票）

助産師として出向した経験がある助産師(有効回答)

		現在、出向 している	以前、出向 していた
助産師としての出向経験がある助産師	128人	53人	75人

(単数回答)

現在、他施設へ出向している助産師（53人）の所属先機関の所在地内訳（23都道府県）

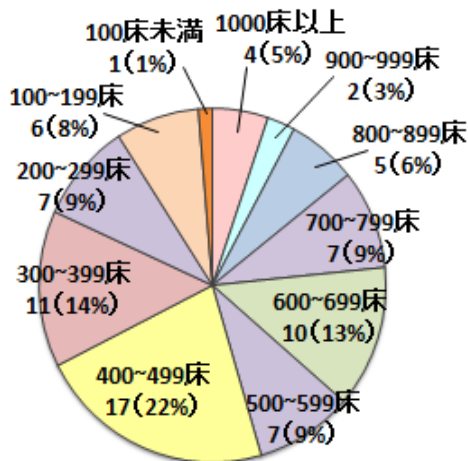
23都道府県	人数	23都道府県	人数
大阪府	9人	山形県	1人
栃木県	8人	群馬県	1人
北海道	7人	東京都	1人
兵庫県	4人	長野県	1人
秋田県	2人	岐阜県	1人
福島県	2人	京都府	1人
埼玉県	2人	和歌山県	1人
富山県	2人	鳥取県	1人
静岡県	2人	島根県	1人
鹿児島県	2人	岡山県	1人
		高知県	1人
		福岡県	1人
		佐賀県	1人
		計	53人

- 他施設への出向経験がある助産師は128人で、助産師調査票回収数7,780人のうち1.6%を占める。

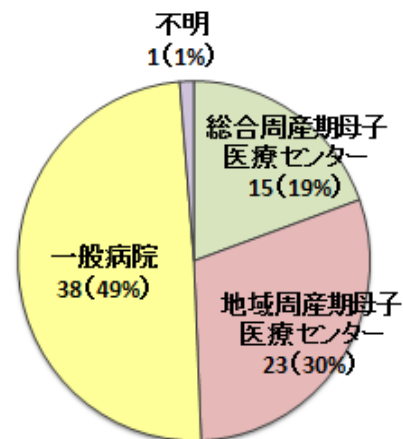
他施設への助産師出向経験がある病院（有効回答77病院）

- 他施設への助産師出向経験がある77病院の病床数は、400～499床(22%)が最も多く、次いで、300～399床(14%)、700～799床、500～599床、200～299床(9%)である。
- 総合周産期母子医療センターが19%、地域周産期母子医療センターが30%、一般病院が49%である。

病床数別の割合
(n=77病院)



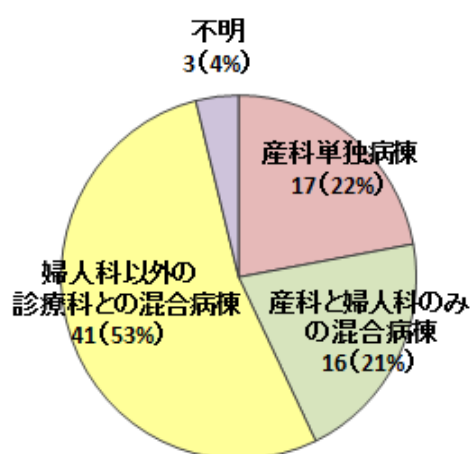
周産期医療機能別の割合
(n=77病院)



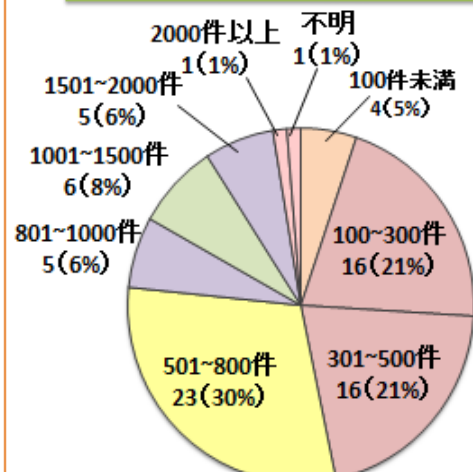
他施設への助産師出向経験がある病院（有効回答77病院）

- 産科単独病棟は22%、産科と婦人科のみの混合病棟が21%、婦人科以外の診療科との混合病棟が53%。
- 年間分娩件数は、501～800件(30%)が最も多く、次いで100～300件、301～500件(21%)、1001～1500件(8%)である。

診療科状況
(n=77病院)



年間分娩件数
(n=77病院)

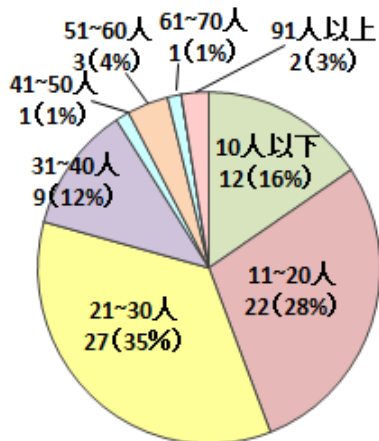


583病院平均値:491 中央値:412
77病院平均値:620 中央値:523

他施設への助産師出向経験がある病院（有効回答77病院）

- 常勤助産師は、21～30人(35%)が最も多く、次いで、11～20人(28%)、10人以下(16%)、31～40人(12%)である。
- 出向時点の助産師の臨床経験年数は、3～4年目(44%)が最も多く、次いで5～6年目(19%)、7～8年目(11%)である。

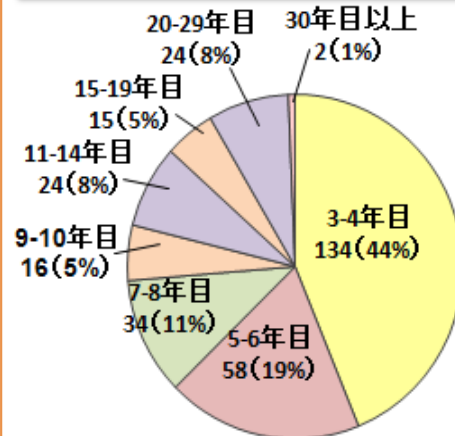
常勤助産師数
(n=77病院)



589病院平均値:18 中央値:15
77病院平均値:24 中央値:22

出向時点の助産師の臨床経験年数
(n=77病院)

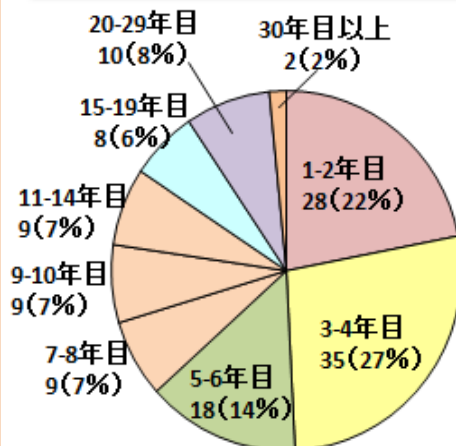
*77病院から出向した308人の助産師の、出向時点での臨床経験年数



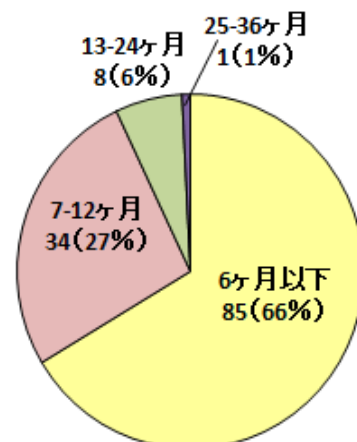
出向経験のある助産師（128人）回答

- 出向した時の助産師としての経験年数は3-4年目が35人(27%)で最も多く、次いで1-2年目が28人(22%)、5-6年目が18(14%)である。
- 1回の出向期間は6ヶ月以下が85人(66%)で最も多く、次いで7-12ヶ月が34人(27%)、13-24ヶ月が8人(6%)である。最高36ヶ月の出向。

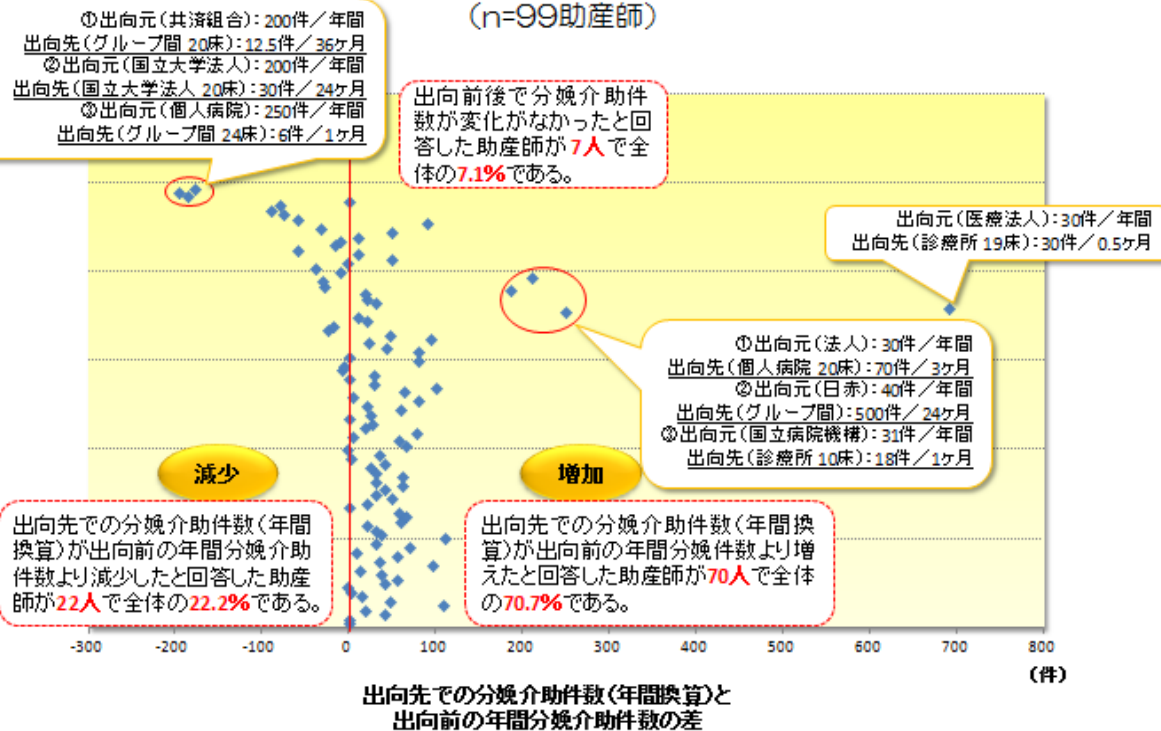
出向した時点での
助産師としての経験年数
(n=128人)



出向経験がある助産師の1回の出向期間
(n=128人)

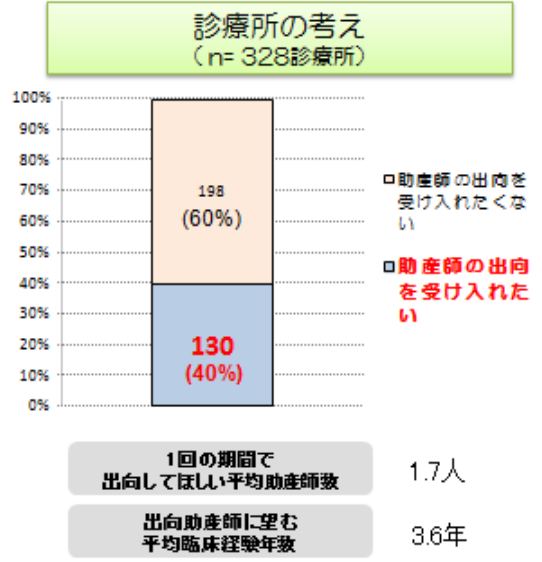
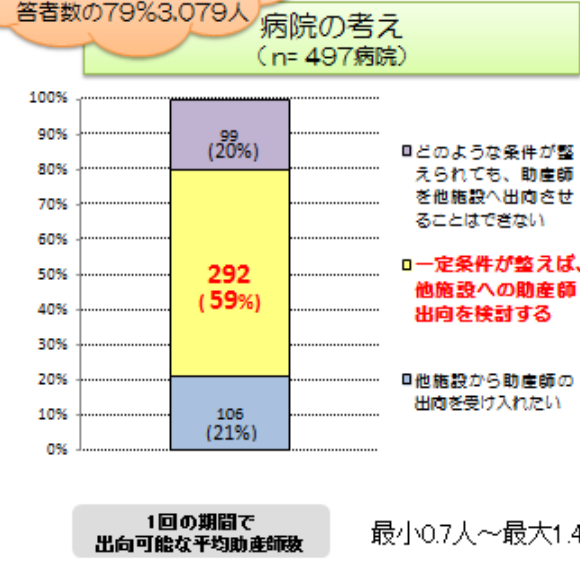


出向先での分娩介助件数（年間換算）と 出向前の年間分娩介助件数の差 (n=99助産師)



「一定条件が整えば、他施設への出向を検討する」と回答した助産師は、有効回答者数の79%3,079人

助産師出向に関する意向

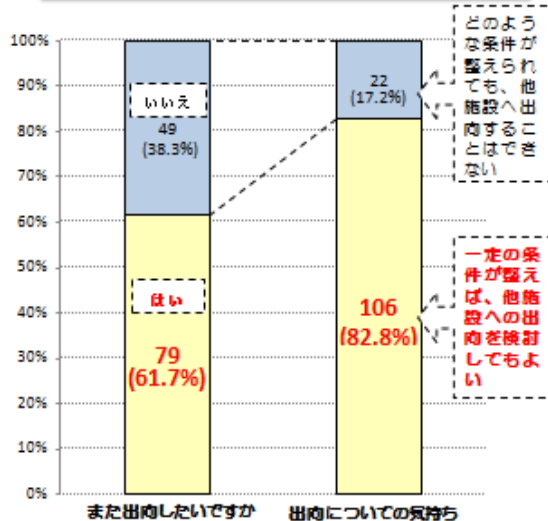


- 助産師出向を受け入れたい病院106施設+診療所130施設=236施設
- 一定条件が整えば、他施設への助産師出向を検討する病院=292施設
- 数字のうえでは需要と供給が成立しているが、助産師出向の前提として「現在よりも助産師数が増員されること」を指摘している施設が多く、現在の助産師数で助産師出向に対応可能な病院は29施設にとどまる。
- 助産師調査では、「一定条件が整えば、他施設への出向を検討する」と回答した助産師が有効回答者数の79%、3,079人。

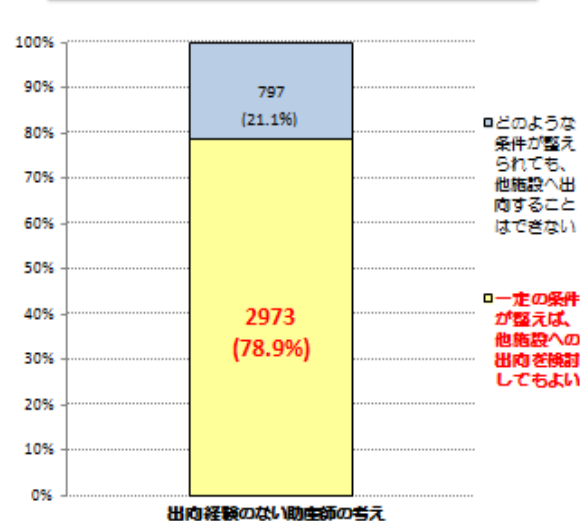
助産師出向に関する意向（助産師）

- 出向経験のある助産師128人中、「機会があれば、また、他施設へ出向したい」と答えた助産師が79人(61.7%)ですが、「一定の条件が整えば、他施設への出向を検討してもよい」と回答した助産師は106人(82.8%)で21.1%が増えている。
- 出向経験がない助産師3770人中、一定の条件が整えば、他施設への出向を検討してもよいと答えた助産師が3079人(79%である。

出向経験のある助産師の考え
(n=128人)

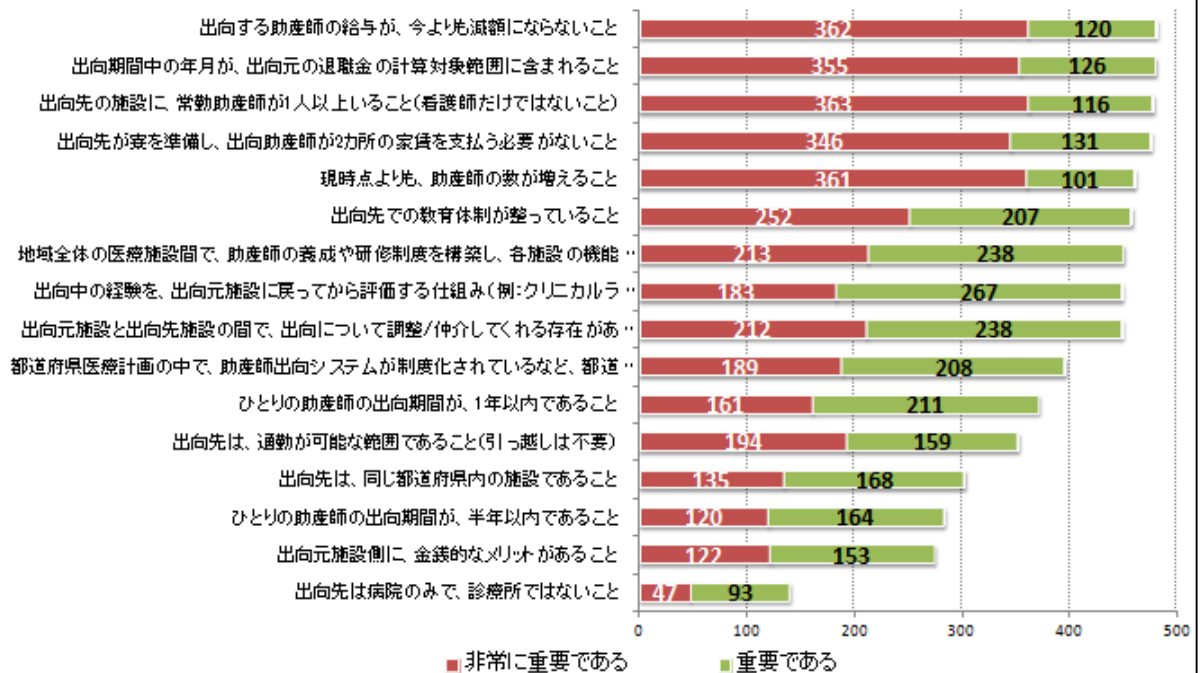


出向経験のない助産師の考え
(n=3,770人)



他施設への助産師出向が可能になる条件/前提（497病院）

出向条件/前提として「非常に重要である」「重要である」を選んだ件数



他施設への出向が可能になる条件/前提（助産師3,898名）

出向条件/前提として「非常に重要である」「重要である」を選んだ人数

